

令和3年度 自衛官募集相談員委嘱式

4月15日、令和3年度自衛官募集相談員委嘱式を浪江町役場本庁舎で行いました。

浪江町長と自衛隊福島地方協力本部長の連名で、自衛官募集相談員に、横山義信さんが委嘱されました。

自衛官募集相談員は、自衛官確保のために、個人の意思に基づいて、自衛官志願者に関する情報の提供や、広報に関する活動を行っています。

このたび委嘱された相談員は、これから2年間、自衛官募集活動を行います。



委嘱された相談員の横山さん（右から2人目）

☎ 総務課防災安全係 TEL 0240(34)0229

放射線モニタリング調査の ためアユ特別採捕を実施

■日 時 7月2日(金)～4日(日)
(受付7時～ 特別採捕8時～14時)

■集合場所 室原川・高瀬川漁業協同組合事務所

■捕獲区間

- ・高瀬川（小野田橋から谷津田橋まで）
- ・高瀬川（下酒井橋（樋渡・高瀬区域）から室原川と高瀬川の合流地点まで）
- ・室原川（加倉橋から幾内橋まで）

■捕獲方法

エサ釣り、友釣り、ポンコ釣り、毛ばり釣り

■注意事項

- ・前日および当日が雨天の場合は中止します。
- ・モニタリング調査実施のため、採捕終了後、釣った魚（アユなど）を同事務所で全て回収します。
- ・同組合で発行する「採捕証明書」は必ず返却してください。
- ・実施日ごとに受付が必要（1日のみ参加可）です。
- ・周辺には復旧工事中・未復旧など危険な場所があるため、採捕の際に注意が必要です。

※今回は特別採捕です。通常は「食の安全確保」などの理由により、町内の河川（葛尾村、田村市都路町を含む）での捕獲行為は禁止されています。

☎ 室原川・高瀬川漁業協同組合
TEL 0240(35)1330

なみえのお医者さん

町は、町民の皆さんが安心して生活できるよう住環境の整備を進めています。
浪江町内で診療を再開した医療機関をお知らせします。



山村デンタルクリニック

町民の
皆さんへ

福島相双復興推進機構（福島相双復興官民合同チーム）、双葉不動産建設株式会社、各医療機器メーカーとスタッフの多大なるご協力のお陰で、3月12日、震災前と同じ場所で診察を再開しました。双葉郡域の未来の発展のため、歯科医療を通じて復興事業者をサポートできたら幸いです。

山村デンタルクリニック

院長 山村 文弘
(一般歯科/予防歯科/矯正歯科/歯科口腔外科)
〒979-1536
浪江町大字加倉字下加倉99-3
TEL 0240(23)4108

【診療日】

月・火・水・金・土曜日
(土曜日のみ隔週、祝日は休診) ※予約優先

【診療時間/予約受付時間】

月・火・水・金曜日 13時～19時
※17時以降は当面の間、受付順
土曜日 9時～13時

みんなで ともに 乗り越えよう

浪江町を復興していくためには、町民の生活再建・健康管理、インフラの復旧、将来に向けたまちづくり、きずなの維持、賠償問題など多くの課題があります。

その中で、町が行っている取組についてお知らせします。

町の復興・創生に向けた要望書を提出

4月12日に額賀福志郎自由民主党東日本大震災復興加速化本部長が、同月24日に井上義久公明党東日本大震災復興加速化本部長が、「陶芸の杜おおぼり」を視察しました。

町からは額賀本部長と井上本部長にそれぞれ「復興・創生に向けた要望書」を提出し、「帰還困難区域の再生に向けた取組の加速化」として、拠点区域外の避難指示解除について、時間軸を示した具体的な方針を示すこと、「第2期復興・創生期間における復興事業の加速化」として、`まちの顔、である浪江駅周辺で、新たなにぎわいと人の流れを創出するための支援を行うことなどを求めました。



額賀本部長へ要望



井上本部長へ要望

問 企画財政課企画調整係 Tel 0240(34)0240

福島大学の復興支援拠点が開設

4月1日、「福島大学うつくしまふくしま未来支援センター 相双地域支援サテライト浪江分室」が、浪江町役場本庁舎1階ロビー西側にオープンしました。

同サテライトは、福島大学の現地拠点として、東日本大震災および原発事故からの復興に向けた支援活動を実施しています。

今後は、富岡町のサテライトと連携し、被災市町村の課題解決支援、教育環境の向上、情報発信などに取り組みます。



「ものづくり」の楽しさと達成感を伝える体験教室



相双地域の課題解決を一緒に考える勉強会

問 福島大学うつくしまふくしま未来支援センター 相双地域支援サテライト浪江分室 Tel 0240(23)5970

町の農林水産業 再生に向けて

問 農林水産課農政係 TEL 0240(34)0245
問 農林水産課農林水産係 TEL 0240(34)0246

「家族経営協定書」 調印式

「家族経営協定」とは、農業経営に関わる家族の一人一人が、意欲とやりがいをもって経営に参画できるよう、家族全員が働きやすい就業環境などについて取り決めるものです。

家族で水稻を栽培している前田一石さん（北棚塩地区）は、この春、長男の拓実さん



協定書を手にする一石さん。
左隣は和恵さん。右隣は拓実さん

が経営に加わるため、経営主の一石さん、妻の和恵さん、後継者の拓実さんの三者で協定を締結。4月26日、浪江町役場本庁舎で調印式を行いました。

当日、前田さんは、浪江町農業委員会佐々木会長から「協定を締結することにより家族が組織として経営でき、より充実した経営体になることが期待できる。これまでも前田さんには地域の営農再開をけん引してもらっているが、これからは家族で地域のリーダーとなってほしい」と激励を受けました。

川添地区で長ネギ生産法人の定植が開始

4月21日、今年から川添地区で営農を開始した「有限会社青高ファーム」「株式会社群馬電機工業」（共に本社は群馬



有限会社青高ファームの畑



株式会社群馬電機工業の畑

県）が、初めて長ネギの定植を行いました。また4月23日には、両社および地区関係者などによる「川添長ネギ管理耕作組合」の設立総会が行われ、今後の川添地区の長ネギ栽培と農業再興に向けた話し合いが行われました。

両社は、群馬県で有数の長ネギ生産量を誇る法人で、令和元年に町内での実証栽培を経て、今年から川添地区で本格的に営農を開始。長ネギの収穫は秋頃を見込んでいます。

有害鳥獣から 町を守ります

4月9日、浪江町役場本庁舎において、「浪江町有害鳥獣捕獲隊」の委嘱状交付式が行われました。昨年度の同捕獲隊による有害鳥獣の捕獲実績は、イノシシ468頭、アライグマ73頭、タヌキ150頭、ハクビシン20頭、カワウ3羽、アナグマ7頭でした。町では、今年度も引き続き、同捕獲隊を中心に有害鳥獣対策の取組を進めていきます。



私たちが守ります

排水機場の復旧工事が完了

東北農政局で平成30年から実施してきた、東日本大震災の津波により被災した棚塩排水機場の復旧工事が、今年2月に完了しました。今後、棚塩地区の排水機能が回復し、復旧・復興が進むことが期待されます。



復旧が完了した棚塩排水機場



問 農林水産省東北農政局 南相馬地域直轄災害復旧事務所 TEL 0240(23)7440